



# 市会 関 勝則 議員 せき かつ のり

「地域のチカラ」を、  
提案・実践。

◎ 新年度予算 ◎  
<http://関勝則.com>

人口減少社会に突入する横浜の将来を、積極的な経済活性化策で切り開く

## 平成 30年度 「横浜市予算案」審査始まる

横浜市は30年度から新たな中期計画をスタートさせます。その第一歩を確実に踏み出すためにも今回の予算審査は大変重要と位置付けています。横浜市の持続的な発展に向けた人や都市の成長基盤を支える予算となるようしっかりと議論してまいります。

新年度の予算審査は2月23日の代表質問から始まり、予算特別委員会の審査を経て、3月23日に採決が行われ成立の運びとなります。今号は、主な予算案の概要をご報告します。

一般会計の予算規模は、1兆7300億円《前年比5.1%増》となっています。

歳入：市税(市民税、固定資産税等)8126億円 国・県支出金3777億円 市債1716億円等。

歳出：人件費3624億円 扶助費4873億円 公債費1915億円 施設等整備費2474億円等。

### 「経済・文化芸術・観光MICE」…主な予算

中小企業への総合的支援(356億2800万円) 企業の事業継続や販路拡大等の支援強化。制度融資による資金繰り支援。商店街の振興(2億5000万円) 店舗誘致や大型店との販売会実施、外国人観光客の獲得に向けた多言語による情報発信。新たな劇場整備検討調査(1000万円) 整備内容や手法、運営方法等の検討や国内外の施設の調査実施。ラグビーワールドカップ、オリンピック開催準備(5億6200万円) 交通輸送や警備等の計画策定、大会のPR、ラグビー選手の小学校訪問事業実施。英国オリンピック代表チームの事前キャンプ受入れ等。

### 「医療・介護・健康づくり」…主な予算

生活習慣病予防対策の強化(45億4500万円) がん検診の受診率向上、生活習慣病の重症化予防、健康寿命への取組強化。特別養護老人ホームの整備(16億3000万円) 高まる施設ニーズに対応するため、整備量を倍増し、年間600床分を整備。2025年に向けた医療機能の確保(8600万円) 将来必要となる病床の確保、長期療養患者のための慢性期病床への転換支援、ICTを活用した地域医療連携ネットワークの構築。

### 「都心部・郊外部のまちづくり」…主な予算

関内・関外地区の活性化(13億700万円) 現市庁舎の事業者公募実施、関内駅北口の駅舎改良、横浜文化体育館の再整備。エキサイトよこはま22(17億8600万円) 横浜駅西口駅ビル開発、地下中央通路の延伸。東口駅前広場やデッキ等の整備。通学路の確保、踏切安全対策(29億1700万円) 歩道の設置やあんしんカラーベルト、通学路の安全で利用し易い空間を整備。桜木町駅周辺の都市基盤整備(7億8900万円) 北仲通地区、野毛地区周辺のアクセス性、回遊性を向上させ地域の活性化を目指す。JR桜木町駅南側に新改札口を設置し、歩行者デッキも整備。団地等の再生支援(1億700万円) 大規模団地の再生ビジョンを策定し、老朽マンションの建替え支援に取り組む。

### 「人づくり」「都市づくり」…主な予算

妊娠期からの切れ目のない支援(1億7900万円) 母子保健コーディネーターを配置し、妊娠期からの相談体制の充実。新生児の聴覚異常について検査費用を助成。小児医療費助成(100億2600万円) 医療費の自己負担分を助成。31年4月から通院助成対象を小学6年生から中学3年生に拡大するためのシステム改修。放課後の居場所づくり(84億3300万円) 放課後児童クラブの面積基準や耐震基準への適合支援。児童数の多いクラブに補助の創設・拡充を行う。青少年の健全育成及び困難を抱える若者の自立支援(5億8800万円) 青少年の地域活動拠点や諸施設の運営を行い、引きこもり等の困難を抱える若者を支援。児童虐待防止、社会的養護の充実(5億4100万円) 児童虐待への迅速・的確な対応を進め、里親家庭を支援。地震に強い都市づくり、緊急輸送路の整備・都市基盤の耐震対策(746億4100万円) 病院等の特定建築物の耐震診断・改修を進め、狭あい道路の拡幅整備を図る。道路の無電柱化や橋梁、歩道橋、上下水道・水再生センターの耐震化を促進。